

◆1 年 SS リテラシー (OIST ツアー) について

本校理数科 1 年は夏期講座期間中 (8/21) に OIST (沖縄科学技術大学院大学) で探究活動を深める特別授業「OIST ツアー」を実施しました。

OIST は国際的に卓越した教育および研究を実施する機関を沖縄に設置する目的で「大学院大学」が設置されました。そのため海外からの教員や生徒が多く、充実した設備のもと、多くの研究が行われています。向陽高校理数科では、将来研究者を目指す理系人材を育成するため OIST ツアーを実施し以下のプログラムを体験しました。特別講義 1 (海外留学生の研究紹介) 英語での講義

特別講義 2 (本校サイエンス部が指導助言を頂いてる吉村氏) の講義

施設見学 普段は見ることのできない、研究施設や大学院の様子を特別に見学しました。



(OIST についての説明 大講堂)



(特別講演 2)

◆球陽高校 SSH 2 年理数科中間検討会を見学！

沖縄県では SSH 指定校が現在 2 校ありますが、7 年目の研究校である球陽高校との連携で 2 年理数科のサイエンス部 (アリ班・イモリ班) 7 名が研究発表に招かれました。又、1 年理数科の代表 16 名も球陽高校の優れた発表直に聞くことができました。2 年生は、球陽高校の SSH 指導員の先生方から貴重なアドバイスをいただきました。来年は向陽高校理数科 2 年生も同様な中間検討会を行います。球陽高校の 2 年生や先生方には、貴重な経験の機会を与えた頂きました。今後も、沖縄の SSH 指定校で連携した取り組みができたらと考えます。



(発表を聞く 1 年生)

◆1 年 SS リテラシー (8 月)

8 月 27 日、1 年理数科で SS リテラシーが行われました。物理分野・化学分野で研究課題の参考になる内容で 1 時間ずつ計 2 時間の取組でした。

【化学】：前回の続き：5 つの白い粉が何かを探究します。前回計画した分類方法を実際実験し、その後白い粉の正体をグループで話し合い、決定しました。先生から良くできたレポートについて解説があり、自分の考えと比較することで実験から導いた答えが正しかった検証しました。

(右図：SS リテラシー 化学の様子)



【物理】考古学で用いる年代測定法を物理で学習する分子の崩壊と絡めて考える内容で授業が行われました。

本校周辺にある「サキタリ遺跡」や「港川フィッシャー遺跡」では 1.8 万年前の人骨の化石や貝具などが発見されており、化石の年代を測定するにはいろいろな方法があるが、物質に含まれる炭素の同位体を測ることで、年代測定が出来るのはなぜか？ヒトの化石を調べるには炭素の同位体を用いるが、古生代の化石 (三葉虫) ではどうなのか？ (←物理の様子) か？ (炭素以外の利用について考察しました。)

